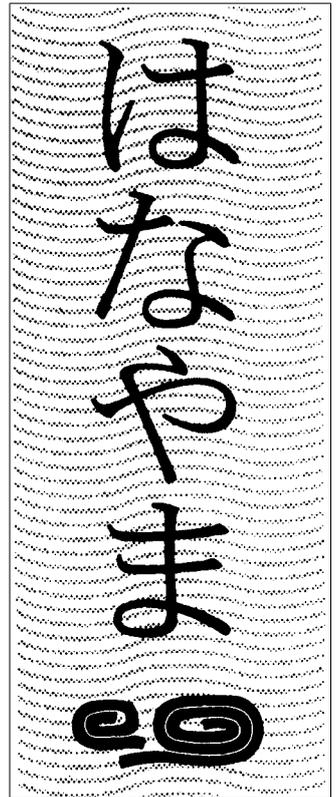


東日本に巨大地震 M9.0 大津波で深刻な被害



発行
 社団法人
宮城県芸術協会
 (郵便番号 980-0803)
 仙台市青葉区国分町3-3-7
 宮城県民会館内
 電話 (022) 261-7055
 F A X (022) 214-5184
 E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
 編集 小山喜三郎

自然の脅威をまざまざと感じさせる、未曾有の大惨事であった。三月十一日の金曜日、午後二時四十六分。東北地方などを巨大地震が襲った。

マグニチュード(M)9.0は国内観測史上最大で、世界でも五番目。宮城県北の栗原市で震度7を観測し、岩手、宮城、福島を中心に十二都道県

の犠牲者は行方不明を含めて二万五千人超(四月末現在)。宮城県芸術協会の会員も、三人が犠牲になった。

「千年に一度」と言われるほどの大津波が発生。太平洋沿岸部を中心に津波や土砂崩れ、建物崩壊などにより、宮城県内の各市町も壊滅的な被害に遭った。

建物だけは残った公共施設もダメージは深刻。仙台市内でも県民会館、市民会館、メディアテーク、震災復興記念館、青年文化センター、イズミティなどが軒並み閉館状態に追い込まれ、五、六月ごろまで、あるいはその先も復旧の予定が立たずにいる。演奏会、公演、展覧会などは中止や開催日の大幅変更を余儀なくされ「芸術の秋」への影響を懸念する声も聞かれる(二面に詳報)。

会員の中には犠牲になられた方のほか、建物損壊などの被害を受けた方たちも多い。「がんばろう東北!」のスローガンばらう東北!」の

ンを受けた息の長い活動が必要とされている。

「はなやま」がA4判に

昭和四十年に会報として創刊された「はなやま」は、昭和四十四年以降はB5判の機関紙として刊行されてきました。現在出版物の多くがA版に移行していることや「文字が小さくて読みにくい」という会員からの声に配慮し、今号からA4判に改め、文字も大きくしました。

「伊達政宗と狂歌」

東海林氏が記念講演

芸協の通常総会に先立ち、東海林恒英氏の「伊達政宗と狂歌」と題する記念講演がある。約一時間の予定。

講師の東海林氏は、東北大法学部のご出身で、仙台市博物館長、仙台市教育長、仙台市収入役などの要職を歴任された。仙台の文化にも造詣が深く、『廻文師仙代庵』などの著書がある。

能や茶道、短歌を趣味とした政宗が多く狂歌を残したことはあまり知られておらず、興味深い話が期待される。

平成23年度通常総会

6月11日に開催

会場は常盤木学園

平成二十三年度の宮城県芸術協会通常総会は六月十一日(土)、仙台市青葉区の常盤木学園シユトラウスホールで開催される。当初は五月二十一日の予定であったが、東日本大震災で宮城県民会館

の会議室が使えなくなったため。芸協の定款には「通常総会は毎年五月に開催する」となっているが、監督官庁の県教委も「緊急事態でありやむを得ない措置」と容認してい

る。当日は総会に先立ち、午後一時三十分から元仙台市博物館長の東海林恒英氏による記念講演があり、通常総会は午後二時四十分からとなる。

主な議案は、平成二十二年度の事業報告と決算報告、平成二十三年度の事業計画案と予算案で、公益法人移行や大震災関連の議案も予定されている。欠席される会員には委任状の提出をお願いしたい。

復興願い百万円

義援金 河北新報社へ寄託



三月十一日の東日本大震災で、巨大地震と大津波が宮城県内にも大被害をもたらした。

この未曾有の大災害に対して、県芸術協会としても被災地の一日も早い復興を願い、義援金の寄託を決定。小山理事長が五月二日、河北新報社を訪れて、小野木総務局長に百万円を寄託した。写真。

▼復興支援行事について
当協会でも、震災直後から何らかの復興支援事業が出来

ないものかとの意見が多く寄せられ、秋の芸術祭を復興支援行事とすることに決めた。部門ごとにも実施の可否や時期などを検討中だが、長期間にわたり復興支援を続ける。

▼被災会員の会費について
沿岸部の会員を中心に、数人の会員の犠牲が確認され、家屋損壊などの被災も多数に上った。これらの被災会員に

対しては、本年度の会費免除等の措置を執ることにした。

大幅見直し相次ぐ

本年度事業 会場・設備が被災

県芸術協会の本年度事業は東日本大震災による会場・設備の被災により、左記の通り大幅な見直しが必要となっている(四月末日現在)。

〈実施〉

▼宮城県芸術祭▼県民との美術交流▼みやぎミュージックフェスタ in 大崎▼第四回宮城の気鋭展▼第三回絵画作

品展▼第三十二回音楽コンクール▼東北・北海道交流▼絵画部スケッチ研修会▼第三十九回研修旅行

〈中止〉

▼第十六回杜の都大茶会▼日・韓国文化交流▼吉林省文化交流事業

〈未定〉

▼「宮城県芸術祭」のうち、

長唄演奏会・文芸祭▼工芸展蔵王展▼「県民との美術交流」のうち、人物クローッキー▼書道部研修会▼工芸部研修会
以上のような状況にあるが、会場・設備の復旧状況により、新たに中止または実施になるケースも想定される。それらの情報については極力お知らせするように努めるが、会員相互の情報交換によっても、実施の有無を確認頂くようお願いしたい。



東日本大震災の深い悲しみと喪失感に茫然自失していた三月十四日、大邱市芸術文化団体総連合会会長の文武鶴先生から、丁重な御見舞と共に、仙台で激励の音楽会を開きたいとの文書が届いた。

追悼の曲も披露

鎮魂の譜～宮城の春へ

大邱で支援音楽会

音楽会は「宮城の春のために」をタイトルに、「悲しみと祈り」「希望と愛と友情」の二部構成。オペラハウス館長の指揮で、專屬オーケストラ三十五名が全曲を演奏した。ウイリアム・テルの序曲が会場に流れると、舞台正面のスクリーンには荒浜(仙台市)の田園に迫る津波の映像が写し出された。東洋一のオペラハウスを満員にした千二百人の聴衆は、肅然と襟を正し、

当地の惨状を説明し、固辞すると共に、六月に宮城県美術館で開催予定の工芸と書道の交流展を、来年度に延期したい旨を答えるのが精一杯であった。

間髪を入れずに「四月二十日に大邱で、宮城を支援する音楽会を開く事にしたので、日本側から三名の派遣を要請する」との文書が届き、小山、早坂(貞)、鶴岡が参列した。

身じろぎもしなかった。十一人のソリストが登場し、舞踊があり、フィナーレはイ・カントンテ男性合唱団が締めくくった。作曲された追悼の曲も披露される、素晴らしい内容であった。

出演者全員が無報酬で参加したことを最後に知って感動は頂点に達し、大きな力を戴いて来た。感謝と共に、会長挨拶の一節を紹介する。

彼等に希望を与えよう。皆様の力を合わせれば、彼等はより早く立ち上がれるはず。大きな愛を！(小山)

新 入 会 員

部門	氏 名	住 所	電話番号
【絵画部】			
〈日本画〉	千田卓内	983-0832 仙台市宮城野区安養寺二丁目11-12	295-7871
	佐藤礼子	985-0023 塩釜市花立町16-1	365-3559
	桶谷光藤	980-0811 仙台市青葉区一番町一丁目16-20-502	278-4188
〈洋画〉	佐藤慶子	989-0225 白石市東町三丁目5-73-5	0224-24-4023
	大坂祥春	989-4411 大崎市田尻八幡字御殿坂43-1	0229-39-1405
	兵藤洋子	987-2216 栗原市築館伊豆一丁目11-3	0228-22-2867
	町田由紀子	987-2216 栗原市築館伊豆一丁目11-3	0228-22-2867
	帆田美野	981-1245 名取市ゆりが丘二丁目16-2	386-1884
	渡辺清雄	981-3111 仙台市泉区松森陣ヶ原31-34	373-2787
	加藤潤二	989-1611 柴田郡柴田町上名生新大原283-6	0224-54-1059
	八幡公子	982-0034 仙台市太白区富沢二丁目16-16	090-6682-0263
	船田芳子	981-3212 仙台市泉区長命ヶ丘四丁目21-2	378-2751
	木村百合子	985-0841 多賀城市鶴ヶ谷二丁目2-15	365-5067
	林しづ子	986-0862 石巻市あけぼの三丁目4-5	0225-95-7253
	柴田治	981-8002 仙台市泉区南光台南二丁目20-11	251-6035
	室井美智子	989-3215 仙台市青葉区向田4-12	391-3155
	石川浩	981-1222 名取市上余田市ノ坪391-1	384-5814
		983-0047 仙台市宮城野区銀杏町22-12	293-5011
【彫刻部】			
	赤井靖武	985-0053 塩釜市南町7-27	362-0468
【工芸部】			
〈陶芸〉	伊藤仁美	981-0954 仙台市青葉区川平四丁目26-13	279-0324
〈染織〉	小林とよ子	989-3205 仙台市青葉区吉成三丁目19-23	278-6874
〈七宝〉	朝村道子	981-0961 仙台市青葉区桜ヶ丘七丁目36-1	279-2289
【書道部】			
	山内桂峰(孝子)	984-0053 仙台市若林区連坊小路80	256-2239
	齋藤凌泉(きみゑ)	982-0812 仙台市太白区上野山一丁目18-18	244-0826
	高井俊篁(恭子)	981-3212 仙台市泉区長命ヶ丘五丁目5-9	378-6268
	田村紅沙(かずみ)	987-0005 遠田郡美里町北浦字待江11-24	0229-32-2450
【華道部】			
〈池坊〉	古里玲梢(一三子)	986-0863 石巻市向陽町二丁目26-18	0225-96-0673
	徳田水(広子)	982-0003 仙台市太白区郡山字欠ノ上6-5	249-3614
	加藤静香(初音)	985-0043 塩釜市袖野田町35-40	366-3233
〈小原〉	安部千華(千賀子)	980-0011 仙台市青葉区上杉四丁目6-46	712-4371
	山口香峰(則子)	982-0021 仙台市太白区緑ヶ丘一丁目15-28	249-5282
【音楽部】			
〈洋楽〉	小野裕美	983-0011 仙台市宮城野区栄五丁目17-10	259-4976
〈長唄〉	杵家弥江島(遠藤潤子)	981-3213 仙台市泉区南中山三丁目26-10	376-2207
【演劇部】			
	大日琳太郎(針生登志雄)	984-0826 仙台市若林区若林一丁目6-38	285-3655
【文芸部】			
〈短歌〉	鈴木直明	982-0036 仙台市太白区富沢南一丁目13-11	245-1826
	藤梢(薄葉梢)	981-1201 名取市下増田字前田407-57-2 クレアシティ名取美田園803	398-6582
	上林節江	982-0812 仙台市太白区上野山一丁目7-36	245-4341
〈川柳〉	吉田宏道	981-0914 仙台市青葉区堤通南宮町3-18-1207	274-9087
	佐藤紀子	983-0021 仙台市宮城野区田子三丁目22-8 シュボージャランジュールA201号	080-6036-9820
	山藤安子	984-0827 仙台市若林区南小泉四丁目12-29	285-9783
	岡京子	984-0827 仙台市若林区南小泉三丁目10-20	286-8705
〈小説〉	安久澤連(菊地孝雄)	989-1606 柴田郡柴田町大字船岡字東町の口52	0224-54-1506
【茶道部】			
〈表千家〉	杉山宗秋(弘幸)	981-3101 仙台市泉区明石南二丁目27-11	375-0561
	渡辺宗遊(ゆき)	984-0821 仙台市若林区中倉二丁目20-1	235-3089
〈裏千家〉	大山宗泉(昭子)	980-0021 仙台市青葉区中央一丁目8-33	223-3080
〈江戸千家〉	山下宗友(友子)	983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目26-1	237-5818
〈織田流〉	渋谷南世(節子)	982-0032 仙台市太白区富沢四丁目12-22	080-6029-1329
	大村南美(みち)	981-3223 仙台市泉区住吉台西一丁目10-8	376-4174
	二宮南毬(毬子)	981-0915 仙台市青葉区通町一丁目7-24-703	050-5808-6507
	太田南春(春意)	981-3201 仙台市泉区泉ヶ丘五丁目8-25	373-2121
	峯岸南進(芳子)	981-2351 亶理郡亶理町上茨田47-2	0223-32-1308
	菊地南理(理香子)	981-0911 仙台市青葉区台原三丁目36-15	272-5996
【写真部】			
	昆野三津男	988-0073 気仙沼市笹ヶ陣5-16	0226-23-9822
	佐藤明	989-1622 柴田郡柴田町西船迫三丁目3-97	0224-57-0280
	清野光夫	989-1305 柴田郡村田町後田78	0224-83-3811
	清閔敏彦	982-0831 仙台市太白区八木山香澄町5-20	022-229-1648
	清水孝行	981-3304 黒川郡富谷町ひより台二丁目10-5	358-4796
	沼田昌明	981-0954 仙台市青葉区川平四丁目31-6	278-8185
	兵藤博行	987-2158 栗原市高清水上萩田55	0228-58-3375

「土に生きる」

針生氏に河北文化賞

第60回(二〇一〇年度)河北文化賞を受賞した陶芸家で当協会参事の針生乾馬氏に、河北新報創刊記念日の一月

十七日、本賞の賞牌と副賞の金一封が授与された。針生氏は父の二世乾馬氏と親子二代の受賞。「いい作品

を作るには、何と言つても『土』です。自分の手を土に預けて燃やすことを、親子二代で必死にやってきました。厳しい仕事ですが、認められて本当にありがたい」と、感想を述べていた。

事務局 日誌

会務報告

- 3・7 理事会
- 平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- 評議員の推薦について
- 新入会員(正会員)の承認について
- 会員の除名について
- 4・25 理事会
- 東日本大震災に伴う平成23年度事業の見直しについて
- 東日本大震災義援金の寄託について
- 東日本大震災復興支援事業について
- 被災会員に対する会費等の救済措置について

後援

- ☆世界俳句連盟主催第1回世界俳句大会
- 4月1日〜3月31日
- 仙台市
- ☆心と人をつなぐ遊佐聖心作品展
- 5月21日〜8月21日
- 細倉マイパーク
- ☆第38回仙台女流美術協会
- 6月10日〜6月15日

せんだいメディアアテーク
☆第35回全日本川柳2011年仙台大大会

6月11日〜6月12日

勝山館・仙台国際センター
☆新藤典子・高木美江ジョイントコンサート

6月15日

仙台青葉荘教会

☆第46回チャールズ会仙台美術展

7月1日〜7月6日

せんだいメディアアテーク

☆第57回全国公募函南書道展

7月14日〜7月17日

宮城県美術館県民ギャラリー

☆第30回板橋健独唱会「声による表現の可能性を求めて」

7月21日

仙台市戦災復興記念館

☆がんばれ東日本！震災復興祈念公演

8月2日〜8月5日

エルパーク仙台スタジアム

☆第58回河北書道展

8月5日〜8月10日

藤崎本館7階催事場

☆第47回宮城水彩展

8月19日〜8月24日

せんだいメディアアテーク

☆第57回全国公募東北書道展

8月19日〜8月24日

せんだいメディアアテーク

受贈書

11月11日〜11月16日
せんだいメディアアテーク

会費納入のお願い

新年度を迎えましたので、平成23年度会費納入に郵便振込をご利用の会員は、同封の用紙で六月三十日までに納入願います。自動振替の手数料も無料ですので、なるべく自動振替への切り替えにご協力願います。
なお、自動振替利用の会員はすでに五月二日に引き落としをさせていたただいておりますのでご確認願います。

記事の訂正

「はなやま 第187号の三頁目、第47回宮城県芸術祭受賞者一覧の記事中に以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
○絵画部(洋画) 守田美代子
(誤) 揺らめくハーモニ ↓ (正) 燦
○絵画部(洋画) 尾形たき子
(誤) 燦 ↓ (正) 揺らめくハーモニ

書道部	大沼翠暉	菊地美津子殿
(誤) 柳宗元詩(漢字) ↓ (正) 「単調な空間」より(近代詩文)		平成22年9月
書道部	池田少沙	熊谷宗圭殿
(誤) 高見順の詩(近代詩文) ↓ (正) 柳宗元詩(漢字)		1月1日
書道部	高野博行	菊地春雄殿
(誤) 「単調な空間」より(近代詩文) ↓ (正) 吉田一穂の詩「岩の上」(近代詩文)		1月17日
書道部	大友きか子	白鳥兵一殿
(誤) 吉田一穂の詩「岩の上」(近代詩文) ↓ (正) 高見順の詩(近代詩文)		1月23日
書道部	菅原寿美子殿	今入惇殿
文芸部(短歌)		2月8日
文芸部(洋画)		2月21日
文芸部(詩)		2月21日
音楽部(邦楽)		2月21日
写真部		2月21日
茶道部(裏千家)		2月27日
絵画部(日本画)		3月11日
音楽部(長唄)		3月11日
茶道部(織田流)		3月11日
絵画部(洋画)		4月7日

けやきの譜

春号の編集会議が佳境に入っていたときであった。三月十一日の午後二時四十六分ごろ。宮城県民会館四階の芸協事務局の部屋が大きく揺れた▼公式の記録では、仙台市内の揺れの時間は一一〇秒である。が、実感としては三分ほどの揺れだったような気がする。会議は散会となり、春号の編集は中断。発行も当初予定より一カ月遅れてしまつたが、ご寛恕いただきたい▼宮城、岩手、福島、三都府を中心に、十二都府の犠牲者は行方不明者も含めて二万五千人超(四月末現在)。大半は津波の犠牲で、古川柳の「海嘯があつて揃う命日」を思わせる未曾有の大惨事であつた▼直後から目立ったのが「自粛」の波。各種のイベントが次々取りやめになったが、行き過ぎた自粛もあつたようにも思う。歌手は歌で、アスリートはスポーツで、文芸家は言葉で、人々に復興への力を与えることが出来るはず。芸協の各部会でも、貢献策を模索しているようだ。(恂)